

特別アップデート

現在の状況を見て、私は主が私を通して何を語ろうとされているのか、かなりの時間をかけて、祈り求めたのです。その中で、聖霊が特別預言アップデートを行うように導かれているのを感じました。通常、毎週日曜日は、預言アップデートの前に、ガラテヤ人への手紙を学んでいます。

これを行う理由の一つは、徹底的な破壊力を伴った、ハリケーンハーヴィーです。今日は、非常に難しい問題に触れていきたいと思っています。

「神はなぜ、世が、神の民、神を恐れる人たちの間でさえも、苦しみに遭う事を認められるのか。」主の御心ならば、今日は、それに関して取り組んでいきたいと思っています。それから、主がこれを行うように導かれていると感じる、もう一つの理由は、来週、私はここには居ません。ずっと Pastor Mac が戻ってきてくれるのを楽しみにしていたのですが、彼が戻ってきました。彼がここに戻ってくるようにと、私はどれだけ祈ったか分かりません。私には、本当に助けが必要ですから。そしたら主が、神にしか出来ない形で彼を戻してくださいました。来週は、私の代わりに彼が説教してくれます。私は、9月17日にここに戻ります。

もう一つの理由は、皆さんの多くがご存知の通り、私の10歳になる娘が、今週のニューヨークで開催される全米テニスオープンで、「America the Beautiful」を歌うために招かれています。娘は200名の中から選ばれ、歌う事になりました。これは、とてつもない祝福であり、とても光栄な事、かつ特権です。皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、「America the Beautiful」は、古いクリスチ안의讃美歌です。元々は詩だったものに音楽が付けられ、最初に Clarence Barber という牧師によって、1904年、ニューヨークの教会で紹介されました。そして、最終的に、讃美歌として多くの教会に知られるようになったのです。私にとってこの曲は、これまでも、またこれからもずっと特別な歌なのです。私の家族は、アメリカに合法的に移民してきました。言っておきますが、『合法的に』ですよ。私が生後9か月の時です。娘が、初めてこれを歌った時、私は号泣しました。娘はアカペラで歌ったのですが、これがとても感動的で、パワフルでした。という事で、娘をここに呼びますので、一緒にお祈りいただけますか？どうか、娘が緊張しないようにお祈りください。それ以上に、彼女の母親と私の為に、どうかお祈りください。ものすごく緊張して、大変です。スタジアムの中に、何干と言う人が集まると言われたから。一緒に祈っていただけますか？

愛なる天のお父様。このような事は、あなたにしか出来ません。移民の娘が、こんなに大きなスポーツの大会で、この美しい曲、「America the Beautiful」を歌います。主よ。娘があなたに栄光を帰すだけでなく、この私たちの愛するハワイを代表する事を、とても光栄に思います。これほど遠方から歌の為に招かれるのは、全米オープン史上初めてです。ですので主よ。どうか娘を祝福してください。緊張しないように。また、今週私たちがニューヨークに発つにあたって、どうか旅の安全をお守りください。どうか、彼女の母親と私に、人間の理解を超える平安をお与えください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

では始めましょう。皆さんの忍耐に感謝します。

今回、ハリケーンハーヴィーについて語る事は、私の義務だと感じています。明らかにこのハリケーンは、歴史的に大変な事で、預言的でもあります。これはこれまでに、また現在も、多くの人に影響を与えています。皆さんも私と同じだと思いますが、この大惨事が、非常に多くの命や生活を、完全に奪う様子を目にして、本当に胸が痛んでいます。私個人的には、この嵐が急速に発達した異様な様に、さらには、その破壊的な威力が、未だに続いている事に驚愕しています。最初の頃に聞いた報道によれば、ハーヴィーはアメリカ史上最も破壊的な暴風雨として記録されるとのことです。支援金の寄付を考えておられる方には、2つのミニストリーをご紹介します。一つ目はサマリタンパース

(smaritanspurse.org)。そしてもう一つは、カルバリーチャペルアソシエーション

(calvarychapelassociation.com)です。どちらのミニストリーもすでにチームが現地入りしています。寄付も出来ますし、もしくはホームページから活動に関わる事も可能です。

これに関して、2つの側面からお話ししたいと思います。1つ目は、預言的な意味。2つ目は、個人的な適応についてです。その中で、預言的な点と点を繋ぎ合わせる事と、個人的な痛みや苦しみに関する、難しい疑問に答える事、両方が出来ればと思っています。先ほども言いましたが、この度、非常に多くの人達が、想像を絶する恐怖と、痛み、苦しみ絶望に直面しているのを目にしています。実際、このような大惨事は、私たちの個人的な生活とも繋がりがあがるのです。

まずは、先週私が言った、次の発言についてです。「前大統領バラク・オバマの時には、アメリカで、ハリケーンハーヴィーのような、大きな大惨事は起こっていない。」しかし、この発言には、次のような背景があります。「アメリカは、イスラエルに圧力をかける度に、大惨事に見舞われている。それは、全く動じでなくとも、一日以内、もしくは数時間以内に起こっている。」また、私は喜んで訂正を受ける旨も伝えていました。私は、常に喜んで訂正を受け入れ、学ぶ者でありたいと思っています。そして、あえて言いますが、かなりの訂正を頂きました。それに対して、私はとても感謝している事も、ご理解いただければと思います。大きな愛情をもって、訂正を頂きましたから。

では、その記録についてお話しします。皆さんの訂正を受け、また、共通の友人を通して、Bill Koinic 師に繋がった今は、特にそのタイミングがとても興味深く思えます。今週の木曜9月7日に発売される、彼の本の拡大版「Eye to Eye-Facing the Consequence of DIVIDING ISRAEL」(目には目をーイスラエル分断の結果) 皆さんも、ぜひ読まれることをお勧めします。その大きな理由の一つは、576 ページの内、60%が内容を新しく更新されている事です。「置き換え神学」に関する章も、アップデートされていますし、「ジョージ・W・ブッシュの任期最後の4年間に起きた、大惨事および出来事」もアップデートされています。「2回にわたる、バラク・オバマのそれぞれ4年の任期について」も、それから「トランプ大統領の任期初めの6か月」についても、全体を通して実によくまとめられています。さらに Koinic 師によると、よく聞いてください。

—— 1991年10月の中東和平会議以来、126件の自然大災害や大惨事が起こっている——

「完璧な嵐」として、皆さんもご存知の、映画にもなりましたが、それは、当時ブッシュ・シニアが居たメイン州を襲いました。Koinic 師はそれらを見事にまとめています。さらに、ジョージ・ブッシュ・シニアがイスラエルに、平和と引き換えに国土を手放すようにと圧力をかけた事の、点と点を結び付け

ています。これはとても説得力があって、Koinic 師と他の人達との間でなされた議論は、「偶然はあり得ない。」という点で、実に納得させられます。それが、和平プロセスの始まりで、1991年10月以来、今年2017年7月1日までに、126件の大災害が起きています。

では、ハーヴィーと預言との接点は何でしょうか。トランプ政権は、イスラエルに何をしたのか？ Koinic 師や他の人が、「その為に、我々はハリケーンに襲われたんだ。」と指摘する事とは？皆さん、よく聞いてください。Koinic 師の言葉を引用します。

——少なくとも、ホワイトハウス上級顧問ジャレッド・クシュナー、中東特命使節ジェイソン・グリーンブラット、国家安全保障担当副顧問ディナ・パウウェルによる、サウジアラビア、カタール、アラブ首長国連邦、ヨルダン、エジプト、イスラエルでの会議と、最終的に熱帯の脅威となったハーヴィーの急速な再形成は、畏怖の念だった。8月23日の水曜、クシュナー、グリーンブラット、パウウェルがエルサレム入りした日、3日間、静かだったハーヴィーが、48時間以内に、カテゴリ4の記録的な熱帯暴風雨となった。ジャレッド・クシュナーと、その一行は、8月20日から24日の週に会議を予定していて、特に、サウジアラビア、カタール、アラブ首長国連邦での会議は、内密にされていた。Koinic 師は言います。「そのスケジュールを把握する為に、アラブのニュースウェブサイトを確認しなければならなかった。」つまり、クシュナーはこの週、“イスラエル—パレスチナ和平プロセス”にフォーカスしていた。ドナルド・トランプ大統領の代理としての、深刻な動きである。その間に、ハリケーンハーヴィーは、巨大な記録破りのカテゴリ4ハリケーンと化し、8月25日の金曜日テキサス南部に停滞。そして土曜日の早朝に及んで、テキサス州東部と南部、ルイジアナ西部に、5日間の記録的な雨をもたらした。ハーヴィーは、2005年のハリケーンウィルマ依頼の、アメリカを襲った巨大ハリケーンで、「500年に一度の暴風雨」と言われている。——

今朝早くに、Fox ニュースを見ていましたが、ある人が言っていたのは、「これは500年に一度の暴風雨でなく、千年に一度だ。」また、別の人は言っていました。「これは、前代未聞の暴風雨で、このようなものは、人類史上なかった。」Koinic 師の他にも、これはトランプ政権であるアメリカが、イスラエルに、“パレスチナの嘘”を黙諾するように、圧力をかけた結果であると信じている人が居ます。これは、嘘です。間違っただけではありません。何が嘘かと言うと、パレスチナ人なんてものは、もともと無いという事です。私は、自分がパレスチナ人だと言われて育ったのです。後になって、それが作り話である事、またそれは、地獄の底から出てきた欺きである事が分かりました。パレスチナ人というものが存在するには、ペリシテ人という者が存在するはずで、ペリシテ人というもの、存在するという事は、イスラエルというもの、存在しないという意味になります。どうかこれを理解してください。皆さん皆さん理解されている事を願います。これは、偽りの父からの偽り、人為的なものです。いわゆる、パレスチナ解放機構の創始者自身が、パレスチナ人ではないのです。彼はエジプト人でした。私の父と同様、エジプト人だったのです。パレスチナ人ではありません。これは造り上げられたもので、その根底には、2世紀にイスラエルが捕囚され、エルサレムが破壊された時に、その名前が Aelia Capitolina に変えられて、その後それが、イスラエルの大敵であった、古代のペリシテ人にちなんでペリシテと変えられたのです。だから、ペリシテは我々の英語では、パレスチナと訳されるのです。今でもよく覚えていますが、1997年、妻と私はヨルダンに居ました。タクシーに乗ると、タクシーの運転手が私の

母語であるアラブ語で、まず最初に聞いてきたのが、「ペリシテ人か？」と。それに対して私は、ホテルに連れて行って欲しかったので、「ああ」と言って、ひたすら祈りました。「主よ。私たちを無事に送り届けてください。」と。

という事で、Koinic 師だけでなく、この Breaking Israel News の報道も、同様の事を伝えています。記事の見出しです。

——『ハリケーン カトリーナ、ハーヴィーと、イスラエル - パレスチナ 和平プロセス』——

これが実に興味深いので、記者の書いている内容を簡単にご紹介します。

——“トランプトリオ”である、ジャレッド・クシュナー、ジェーソン・グリーンブラット、そしてエジプト生まれの、ディナ・ハビブ・パウウェル（もっと興味深い事に、テキサス在住です。）、彼らが中東にやって来て、イスラエルとパレスチナの高官たちと会い、その後、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、エジプト、ヨルダンの指導者の間を往復して、イスラエル - パレスチナ和平プロセスを、再始動させようとしている間に、その時、ハリケーンハーヴィーは、神の破壊力をもって、テキサスを襲い始めた。あれから12年後の今回、ルイジアナもまた襲われている。私が、2005年9月に書いた記事、「イスラエルからアメリカへ『警告しただろう。』」に、私はこう記している。「始まった。イスラエルの兵士が、何千人というユダヤ人を、ガザ、サマリア地区の彼らの家から追い出し、25のコミュニティーを根絶やしにしてから1週間以内に、アメリカの兵士は、人々を唯司アナ州およびミシシッピ州の彼らの自宅から非難させている。アメリカ史上最悪の自然災害。その至る所に、神の御手が描かれている。」——

続けて彼は、これについて解説し、そして2005年6月の記事の中で、彼は書いているのは、

——「イスラエルは、アメリカに“冷淡な真実”を告げる。』『あなたの国は危険にさらされている！と警告したじゃないか。2千年の後に、ユダヤ人を国土に連れ戻したイスラエルの神が、あなた方の一挙手一投足を見ておられるのだ。イスラエルに、その国土の一部を“パレスチナ”なんていう、存在しない集団に譲れなどという、自殺的容認を押し付ける行為は止めなさい。手遅れになって、あなた方の運命が封印される前に。』そして私は、彼らにこう言いました。『ユダヤ人の贖い、そしてイスラエルの帰館は、止める事の出来ない、神による行程なのだ。パレスチナにも、ヨーロッパにも、アメリカにも止められない。もしアメリカが、聖書が申命記 32:21 で“民ではないもの”と呼ぶ、“パレスチナ人”の権利を引き続き推し進めるなら、あなた方は、歴史の神、ユダヤ人の運命に逆らっているのだ。という事を知っておけ。気をつけろ。』——

先に進む前に、少し補足的に付け加えると、今この時でさえ、トランプ政権までもが、イスラエルに黙諾させようとしている、この「二国解決策」は、ヒトラーの「最終解決策」の再梱包だと、私は個人的に信じています。これは、過激な発言である事は私も分かっています。しかし、私の見解はこうです。ヒトラーの最終解決策とは何か？それは、世界中のユダヤ人を一人残らず絶滅、壊滅、根絶する事です。これは、絶対に成功しませんよ。反キリストが、再び患難時代に試みますが、絶対に成功しません。

では、ヒトラーの最終解決策が、どのようにして再梱包され、二国解決策になるのか？イスラム、相対

していわゆるパレスチナの計画は、イスラエルと国を供給する為でなく、イスラエルの破滅の為にあるからです。彼らには、自分たちの国も差し出されているのです。ビル・クリントン元大統領、バラク首相、ヤーセル・アラファートと行われた、キャンプデービッドでだけではありません。ヤーセル・アラファートには、エルサレムが与えられたのです。欲しいものは何でもと、彼の望むものは何でも与えられたのです。しかし彼は乗らなかった。それは、彼がその書面に署名すれば、自身はあつと言う間に暗殺されることを知っていたからです。彼の前に自国民に暗殺された、イツハク・ラビンのように。決して、ユダヤ人と平和を構築しない。騙されてはいけません。使徒パウロが、多くの手紙の中で書いているように、「無知であつてはいけません。」

もし興味のある方は、この記事が全部読まれることをお勧めします。記者が続けて書いているのは、トランプ政権がいかにして、引き続き、中東の平和という祭壇に、イスラエルを犠牲に捧げているか。イランのシーア派に敵対する、スンニ派連合軍の指示を得るために、です。興味深いですね。私からすれば、エゼキエル 38 章の観点から、これは預言的に、とても深い意味を持っていると思います。だから私は、トランプがサウジアラビアに行った時、非常に失望したのです。皆さん、理解しておいてください。イランやその他、ロシアが連合を組むエゼキエル 38 章の国々は、イスラエルを攻撃するのです。それも核攻撃です。ところで皆さん、今朝のニュースを聞きましたか？北朝鮮がまた出ていました。皆さんに知っておいて欲しいのは、特にここハワイに住んでいる私たちは、北朝鮮が、今日また行った事をするたびに戸惑いますが、どうか、皆さん理解しておいてください。これは、問題はハワイに居る私たちや、グアムでもなく、実際は北朝鮮が親しくしているイランです。それも、かれこれ 10 年になります。ちなみにもう一つ言っておきますが、イランは、北朝鮮を操り人形のように使っているのです。そしてこれもまた、とても深刻な預言の意味を持っています。サウジアラビアは、ロシア、イランやリビアといった同盟国による、イスラエルへの攻撃に対してただ抗議するだけです。

さて、現在のサウジアラビアとの関係の為に、筆者はこのように記しています。

——サウジの皇太子、ムハンマド・ビン・サルマーンは、ドナルド・トランプの、イスラエルとパレスチナ間の永遠の平和達成意欲に楽観的である。——

問題はこれです。

——ガザのグシュカティフから、ユダヤ人を排除する事へのアメリカの援助は、神の計画に反しており、その着けが、アメリカ湾岸の社会を根こそぎにしたハリケーンカトリーナという形で、速やかに、恐怖となって返ってきたのは明らかで、同様に、今回のユダヤ人を、ユダ、サマリア地区にある、彼らの自宅から追い出すと脅迫して、平和を推進しようとするアメリカの新しい試みは、ハリケーンハーヴェイという大惨事を、テキサスとルイジアナにもたらした。グシュカティフからのユダヤ人が、難民となったようにアメリカ人もなり、ユダヤ人が家や財産を失ったようにアメリカ人も失い、今度もまた、ハリケーンハーヴェイによって同様だ。——

「まあ先生。かなり厳しいですね。」分かっています。皆さん、これは、創世記 12 章 2-3 節が元となっている事を、理解しなくてはなりません。『イスラエルを祝福する者を、わたしは祝福し、逆に、イスラエルをのろう者を、わたしはのろう。』（創世記 12:3）

これら全ての事から、私が向かう先はこちらです。ここから、個人的な適応に繋がります。それは、これら全ての預言的意味にも関連しています。重要な理由は2つ。

1つは、ハリケーンハーヴィーのような大惨事が、多くの場合、現在私たちが生きる時代が、どのようなのかという現実について、人々目を覚まさせます。先ほどお話しした、預言的との点と点の繋がりに関して、皆さんがどう考えていようとそれとは関わりなく、アメリカを襲った大惨事と、アメリカがイスラエルにかけた圧力との関係について、皆さんがどう解釈していようと関係なく、否定できないのは、これが“時のしるし”であるという事。これは否定できません。これは弟子たちが訪ねた時に、イエスが言った事そのもので、それはマタイ 24 章に記されています。彼らは、イエスに2つの質問をしたのです。主の来られる時と、世の終わりには、どのようなしるしがあるのか。それに対して、イエスが彼らに答えられたことを、注意深く聞いてください。

“イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名をのる者が大ぜい現れ、『私こそキリストだ。』と言って、多くの人を惑わすでしょう。また戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気を付けて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。” (マタイ 24:3-5)

人類史上、今ほどに戦争の脅しのある時代があったでしょうか。北朝鮮が脅し、イランが脅し、アメリカが脅し、ロシアが脅し、いくらでも出てきます。しかも、それらはほんの表面で、現在起こっている戦争に共鳴して、起こっているだけに過ぎません。シリアは覚えていますか？最近ニュースになっていませんが。つまり主は、これらの事が起こると言われたのです。

“しかし、終わりが来たのではありません。民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり——、” (マタイ 24 : 6)

そして主はとても興味深い事を言っています。

“方々にききんと地震が起こります。” (マタイ 24 : 7)

良いですか？聖書預言の中でしばらく話していませんが、また、お話ししなければならないでしょう。ただ、マグニチュード6以上の地震が増加しているのを見ていませんか？これは否定のしようがありません。その理由を、イエスがこれらの事を、妊婦の産みの苦しみに例えられたのです。

“しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。” (マタイ 24 : 8)

陣痛について、全くその通りだと思いませんか？頻度が増し、激しさが増します。そして、産みの苦しみのすごいところがあります。私は、4人の子ども達が生まれる時、全員の出産に立ち会ったのです。

あの痛みを見てからは、私は妻の事も、そして子供を産んだことのある女性達を、心から尊敬しています。一旦陣痛が始まると、止まらないのです。考えてみてください。一旦陣痛が始まると、それまでです。赤ん坊は生まれるのです。イエスは、それを言っておられるのです。陣痛のように、これらの事が一旦起こり始めると、「わたしはやって来る。」「何も止められない。」陣痛は、一旦始まったら止まりません。だからイエスは、それを産みの苦しみに例えられたのです。

大事な理由 2 番目は、このような大惨事が、いかにして、この世の痛みや苦しみとして語られるか。クリスチャンが苦しみ事の問題です。もっと具体的に言えば、次のような疑問です。

「どうして、良い人に悪いことが起こるのか？」

「神が、それほどに愛しておられるなら、どうして世の中に、継続して悪がはびこっているのか？」この事で、いつも責められるのは神です。保険の細かい注意書きを、よく読んでみた事がありますか？彼らは、自然災害を「神の行為」と表現しています。まあ、そうかも知れません。しかし、神は怒っておられるのでしょうか？先週、ロトの背景を元にお話ししましたが、神は正しい者を、悪い者と一緒に裁かれるのでしょうか？どうして、世には痛みや苦しみがあるのでしょうか？今日は、この重要な問題について、実践的、かつ預言的にお話ししたいと思いますので、皆さんには、忍耐強くお付き合いいただければと思います。

みなさん、ご承知おきください。今回は、この世の痛みや苦しみについて理解しようとする為のもので、徹底的に追求したものではありません。これに関してもっと深く知りたい方は、「The problem of Christian suffering (クリスチャンが苦しむことの問題)」というタイトルで、3回に分けて行っていますので、過去の動画をご覧ください。6年前の2011年6月のメッセージです。(※日本語版はありません。) ウェブサイトか Youtube でご覧いただけます。

では、「なぜ、良い人に悪い事が起こるのか？」という疑問に、取り掛かりましょう。

まず、質問が間違っています。質問は、「なぜ、良い人に悪い事が起こるのか？」ではなく、正しい質問は、「なぜ、良い事が悪い人に起こるのか？」です。間違った質問では、正しい答えは得られません。正しい答えを得るために、正しく質問しなければなりません。どういう意味でしょうか？説明しましょう。

“「義人はいない。ひとりもない。」”(ローマ3:10)

わたしたちは正しくありません。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず”(ローマ3:23)

と言うと、恐らく皆さんは「私は善人ですよ。」と言われるでしょう。でも、その正しさは十分ではないのです。「ご機嫌いかが？」と聞いた時の、ある人の答えが、私はとても気に入りました。彼はこう言いました。「私が受け取るべきものより良い。」とても良い答えです。しかも、正しい。なぜかと言えば、罪びととして、私達が本来受けるべきものは何か？罪の報酬は？『死』『罰』『神の怒り』です。

“「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ3:10)

イエス・キリストお一人だけです。だからヤコブは言いました。

“すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は、上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。”(ヤコブの手紙1:7)

コロコロ変わったりする事はありません。良いものなら、神はくださいます。良くなければ、神は与えない。面白い事に、「私は善人ではない、でも神は良いことが起こるようにしてくださる。」という風に考えると、度々、間違っって引用される聖句があります。

“正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださる。”(マタイ5:45)

そして、これに対する反応が、「そうだ！神よ、立ち上がってください！！」でも、そこには問題があります。それは何かというと、雨は悪い事ではないのです。特に、農業社会では雨は良い事です。つまり、神は何とおっしゃっているか分かりますか？

「神のいつくしみは、正しい人にも、正しくない人にも、同様に与えられるのだ。」

なんと。これでパラダイムが変わりますよね。突然にして、私の人生におけるすべての良い者は、神から来ているんだ、そして私にはそんな資格は無いのだと。私は善人では無いのだから。もし、私が善人であったとしても、神のいつくしみを受けるに値するには、全く足りません。「なぜ、良い事が、悪い人に起こるのか？」これが質問であり、それが答えです。

言いたくありませんが、私達は崩壊した世に生きているのです。そして悪い事に、神を恐れる人にも、神を恐れない人にも同様に起こります。クリスチャンも、この世の悪の例外ではありません。イエスは言いました。

“「あなたがたは、世にあっては患難があります。」”(ヨハネ16:33)

イエスが言われたのが、「患難や痛みが“ある”」ではなく、“可能性が高い”とか“あるかも”とかだったら、どんなに良かったらうと思います。でも、違うのです。主は「ある」と言われた。「ある」のです。この「ある」の部分の、原語を調べたりしないでください。もっとはっきりと書かれていますから。「そうなる」と。「そうなる」のです。

“しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。”(ヨハネ16:33)

私たちは、ただ勝っただけでは無いのですよ？知っていますか？私は、ただ勝っただけでなく、勝利以上のものです。ただの勝利でなく、勝利以上、私はキリストにおける勝利者です。

“あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。”(第一ヨ

ハネ 4:4)

悪魔はこの世を所有していますが、それも長くは続きません。すでに敗北している敵なのです。彼も、その事を知っています。彼はすでに敗北しているのです。しかし神は。私はこの2語が大好きです。これによって、全てが変わりますから。しかし神は、神にしかできない形で、勝利させてくださいます。主が、どのようにそれをされるのか、私には分かりません。ただ信仰によって、私には、主がそれをしてくださると分かります。私は経験を通して、分かります。私の経験がそれを証明していますから。神は悪い事を用いて、良い事にして下さる。これが約束であることは、ご存知ですね？私たちが試練の中にいる時、敵は度々、ある意味ローマ書 8:28 を聖書から取り除こうとします。それは、今でも私たちに当てはまるのです。私たちは、主を愛していて、主のご計画に従って召されていますから。そして、神は私たちに約束されたのです。神は、その約束を守らないなんてことは、出来ないのです。

“神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。” (ローマ 8:28)

神はその約束を守られます。その約束とは、「神が全てのことを働かせて益としてくださる。」という事です。あなたにもその内分かります。ちょっと待っていてください。そうすれば分かります。これを、ジム牧師は、「待つ信仰」と呼びました。ただ、待っていればよいのです。そうすれば分かります。神は益としてくださいます。主は、そこから益をもたらしてくださるのです。それが神の目的だからです。そして、わたしたちは主の目的に従って召されたのです。

そこで次の疑問は、

「神の民として、クリスチャンとして、私たちが産みの苦しみに遭う目的とは何か？」

神が、その民が人生の中で痛みや苦しみに遭う事を許される理由は、いくつもあると思います。その内のいくつかを、今日はお話しします。繰り返しますが、これが全てではなく、ほんのいくつかです。神が痛みや苦しみを許可される理由の一つは、私たちの注意をひく為です。正直に言えば、物事がうまく行っている時には、私たちは、いつの間にか停滞します。そして苦難が襲うと、あっと言う間に神の御前に進み出る。神に泣きつきます。神が、私の注意をひかれたのです。伝道者の書 7:14 で、ソロモンが書いたことを、分かりやすく言いますと、基本的に彼はこう言っているのです。「ものごとがうまく行っている時は、それを楽しみなさい。しかし、」これもまた違う言葉だったらいいのと思うセリフですが、「苦難の時には、」と書かれています。「もし」とか苦難が襲う「かもしれない」なんて言い方はしていません。「苦難の時」には、立ち止まり…、ここで、神はあなたの注意を引きます。そして、考えよと。

“順境の日には喜び、逆境の日には反省せよ。これもあれも神のなさる事。それは後の事を人に分からせないためである。” (伝道者の書 7:14)

神は繁栄も、苦難も、許されます。何故か？そうすれば、あなたは自分の将来が分からず、主を見上げ

ざる得なくなるからです。人生に確かなことなど、何もありません。人生に、確かな事などありません。あなたには、何も分かりません。神は苦難も許可され、繁栄も許可されます。そして時に神は、あなたの人生にも苦難が襲う事を認められます。それが、経済的な事であれ、結婚生活であれ、仕事、家族、子供、それが何であれ。主は、あなたに苦難が襲う事を許可されます。それが、主があなたの注意をひく、唯一の方法だからです。それを許す事によってのみ、です。

また別の理由は、神はさらに大きな苦難からあなたの事を守ろうとされている。これに関して説明したいと思います。時に神は、あなたが試練に直面する事を許可されます。それは単に、神があなたの事を、ここよりもっと大きな嵐から守る為です。マタイの福音書 14:22-31 に、皆さんも良く知っている箇所があります。その中で、イエスがものすごく急かしておられるのです。福音書の中では、あまり見かけない様です。しかしそこには、イエスが弟子たちを、「強いて舟に乗らせた」とあります。何と言うか、大急ぎの様子です。福音書の中で、救世主が急ぐ様子はあまり見かけませんが、この場面では違います。ガリラヤ湖の向こう側で、生きるか死ぬかの嵐が起こる事を知ったうえで、主は急いで彼らを舟に乗せるのです。「向こう側で会おう」と。すると嵐が弟子たちを襲い、彼らは非常に恐れます。すると、イエスが舟に向かって歩いて来られ、主が「わたした。」と言われるまで、彼らはさらに恐れます。するとペテロは、「主よ!お会いできて良かったです!!」とは、言いませんでした。ペテロは「私に来いと命じてください」と言ったのです。この時に、ペテロは水の上を歩いたのです。もちろん、彼が主から目を離した時、彼は沈み始めます。私は、この部分が好きではありません。私は、彼がそれだけの信仰を持っていた部分が好きです。嵐は、まだ静まっていなかったのです。その時はまだ、イエスは嵐を静めていませんから。考えてみてください。彼は信仰によって、「私に命じてください。」と言い、そして舟からその嵐の中へ出て、水の上を歩いたのです。時に神は、嵐を送られます。主が奇蹟を行うためです。私たちは、何かと水の上に頭を出しておかなくては…、と考えますが、ペテロは水の上を歩いたのです。そして、舟に戻ってから、主は嵐を静められたのです。どうしてイエスは、そのような激しい嵐を知っていながら、彼らを送り出されたのでしょうか？それは、ガリラヤ湖の反対側にあった、さらに大きな嵐から彼らを守るためです。覚えていますか？これは、少しの魚と、少しのパンとで、何千人もの人を食べさせた奇蹟の直後だったのです。もし、私があのような弟子の内の一人で、そこに居たとして、イエスがあのようなことを行うのに私を用いられたなら、きっと私なら思っていたでしょう。「わあ、ここで教会を始めよう！教会の名前は、“大衆を食べさせた奇蹟の教会”だ。」と。皆さん、想像できますか？彼らが、どれほど高慢になり得たか、彼らがどれほど心が高ぶる可能性があったか。そこからイエスは守られたのです。だからイエスは、急いで彼らを舟に乗せて、嵐の中に送り込まれたのです。倒れに先立つ“心の高慢”から、彼らを守られたのです。主は、人の心をご存知ですから。彼らが自分の事でいっぱいになると、やって来る試練は、ガリラヤ湖でペテロが水の上を歩いた嵐よりも、ずっと大きいのです。

“高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。”（箴言 16:18）

神が私たちの人生の中で、痛みや苦しみを許可されるもう一つの理由はこちらです。神があなたの為に用意されている何かに対して、あなたの事を備えておられるかも知れません。聖書の中で、私が一番好

きな箇所があります。私は、聖書の全ての箇所で同じことを言っていますが、本当に私が大好きな箇所は、創世記 50 : 20 です。私の大好きな「しかし、神は」の聖句です。ヨセフは、7年の飢饉の最中に、兄弟たちに自分の正体を明かします。人々が死んでいっている時、彼は人々が神と見ていたパロに次いで、世界中で力を持っていました。彼は、兄弟たちに正体を表した後、こう言いました。

“あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。”
その理由は――、

“それはきょうのようにして、多くの人々を生かしたおくためでした。”（創世記 50 : 20）

考えてみてください。思い描いてみてください。ヨセフの兄弟たちは、数枚の銀貨と引き換えに、彼を奴隷に売ったのです。銀貨 30 枚と引き換えにイエスを売った、ユダの予型です。彼らは、死にかけているヨセフを放置して去りました。そしてヨセフはエジプトで奴隷となり、上司の妻への強姦未遂で訴えられて、刑務所に送られました。彼は裏切られ、刑務所の牢屋に投獄されました。そして、ついにパロが夢を見、執事が言ったのです。「夢を解き明かす者が居ます。」そうして彼は、穴から頂点へと昇りつめて、世の中で最も力を持った人物となったのです。備え無しには、誰もここまで力ある人物になれません。これら全ての年月が、ヨセフにとっては備えの時だったのです。彼が通った試練の全てが、です。人類史上、最も不当に裁かれた人物がいるとすれば、それはヨセフでしょう。彼は正しい人だった。彼は、神を恐れる男だったのです。なのに、何年も何年もの間、全てが間違った方向に行き、彼にとって悪い方向に行った。彼は、彼の親しい人たちから、深く傷つけられたのです。しかし神は、彼に用意しておられる事の為に、彼を備えておられたのです。

ダビデの事を思い出します。17 年間、彼はサウロに命を狙われて逃げていました。彼はホームレスで、洞窟に住みました。しかし、その最中で彼は、聖書の中で最もパワフルな詩編を書いたのです。世代を超えて、多くの人がそれによって励まされています。しかし神は、この心を神に捧げた男、ダビデに用意しておられた事の為に、ダビデを備えておられたのです。彼に用意されていた事の為に、彼は、これら全ての試練を通る必要があったのです。もし今日、ここにおられる方の中に、大きな困難に直面している人が居るなら、そして、どうして神はこんな痛みや苦しみ、苦難を許されるのかと葛藤しておられるなら、神には目的があるのです。その目的とは、神が、あなたの人生に用意しておられる使命なのかもしれません。だからあなたは今、あなたが直面しておられる、苦難の中に居るのかも知れません。

もう一つの理由は、もしかすると神は、私をへり下らせておられるのかも知れません。その事によって、私が完全に神に頼るように。第二コリント 12:7-10 で、パウロは肉体にある 1 つのとげを抜いてくださるようと、3 度神に祈ったと書いています。しかし、神はその祈りを聞き入れませんでした。それは、常にパウロがへり下り、完全に主にだけに信頼する為でした。どうしてパウロは高慢になりそうだったのか？それは、14 年前に彼は天に上げられ、人間には語る事を許されていない、口に出すことの出来ない言葉を聞いたからです。もしあなたが、神に呼ばれ、天国を垣間見たなら、横柄にもなり得るでしょう。面白いのは、彼が 14 年間誰にも言わなかった事です。そして、やっとコリント人に言ったのです。しかも、そのやり方は、第三者として語りました。彼は、自分が高慢になりがちなことを知っ

ていたからです。ここから学ぶべきことがあります。私たちは誰もが、高慢になりやすい性質を持っています。プライドに関して、これは事実です。高慢と高ぶりの違いは、高慢は倒れに先立ちますが、高ぶりは破滅に先立ちます。破滅ですよ。倒れとはまた違います。そして神は、常に私たちをへり下らせ、私たちをそこから守られます。主は高慢を嫌われます。主は、高慢を遠くから見抜かれると、箴言には書かれています。「私から離れろ！」しかし、主は低い者を顧みてくださいます。へり下りから知恵が来ると、知っていますか？何かを決断するにあたって、主を探し求め、知恵が必要な時に、高慢な態度で臨むなら、それは与えられません。他に、どんな言い方をすればよいのか分かりませんが、これが真理です。もし、高慢な態度で神の御前に進み出るなら、その心が自分の事でいっぱいなら、自分の力で十分だと思っているなら、主から何かを頂けるなんて、期待しないでください。反対に、私たちが主の御前にへりくだる時、主は駆け寄ってくださいます。主はへりくだる者にあわれみをかけられる。主ご自身が、へりくだっておられたのです。神はへりくだる者を愛されます。

もう一つの理由は、神が痛みや苦しみを許されるのは、他の苦しんでいる人を慰められる為に、あなたを用いようとされている為です。第二コリント1章3-7は、私の人生と私の妻の人生の中で、とてもパワフルに用いられた聖句です。パウロは基本的にはこのように言っています。あなたは、自分が試練の時に与えられた、同じ慰めを持って、他の人を慰める事が出来る。あなたが苦しんでいる時、神がどのようにあなたを慰めたか。それによって、神はあなたも、他の人を慰めるようにと言われます。彼らは、あなたが直面したのと同じ苦しみの中に、今いるからと。

私たちの娘、ノエルが無くなった時、本土に居たキリストにある兄弟と、電話をしていました。彼もトミソリー18で赤ちゃんを亡くしていたのです。彼は、自分の子が無くなりそうな時に、神から受け取ったのと同じ慰めをもって、私を慰めてくれていました。時に神は、「相手が直面している苦しみを知らなければ、本当に仕える事は出来ない。」と言われます。これ、真実だと思いませんか？それによって、あなたは彼らに仕える権利を得るのです。それは、あなたがそこを通過して来たから。神が、あなたを通らせたのです。あなたが、彼らを励ませられるように。

辛い離婚を経験されたかも知れません。もしくは、困難な結婚生活を送っておられるかも知れない。または、経済的に困難に直面しているかも知れません。皆さんは、神があなたを通らせたのと同じ苦難に直面している他の人に、仕える事が出来るのです。時に神は、他の人の益の為に、私たちを試練に遭わせることがあります。神は他の人の人生の中で、私たちを使われるのです。

辛い試練のもう一つの理由は、神は、私が霊的に成熟し、忍耐を得るようにされているのかも知れない。これはヤコブの手紙1:2-8です。皆さんも良くご存知の箇所ですね。ここでヤコブはこう言っています。

“私の兄弟たち。様々な試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。”(ヤコブ1:2)

うそでしょう！？この上もない喜び？！この上もない喜びなんて思えない！！私が試練に直面している時は、「神よ！！何をなさるのですか！！」「神よ！！どうして私の人生に、こんな事を許されるのです！！」

よくぞ聞いてくれた。何故かって？それは、その試練を乗り越えるために必要な忍耐は、この試練によって、与えられるのです。そうです。あなたが、乗り越えられるようにしてくださいと、私に祈ったのだ。力を与えてください、忍耐を与えてくださいと。それは、どこから来ると言えば、試練です。あなたにはそれが欠けているから。そして、あなたにかけているものを、私は与える。試練の時、あなたに必要なものが備わるように。「忍耐が？」そうです。そして、まさにその試練によって、忍耐が生じるのです。

神は、時には私たちに、自分には出来ないと悟り、認めさせる為、ギリギリまで私たちに追い込む事も必要だと考えておられるようです。私たちには、完全に、全くもってどうしようもないところまで、です。そうすれば、私たちが主にすがらからです。

木曜の夜の祈禱会で、ハリケーンハーヴィーの被災者の為に祈っている時、私は、第二歴代誌 20:5-23 を引用しました。簡単に説明します。

ヨシャパテは、対戦するのは不可能なほど敵に囲まれていました。彼に敵対する兵士が居て、神が介入されない限り、彼は終わっていました。それまでです。イスラエルも終わり。彼らに勝ち目はありません。不可能でした。そこで9節。面白い事に、これはこのように祈りました。

“『もし、剣、さばき、疫病、ききんなどのわざわいが私たちに襲うようなことがあれば、私たちはこの宮の前、すなわち、あなたの御前に立って、——あなたの御名はこの宮にあるからです。——私たちの苦難の中から、あなたに呼びわります。そのときには、あなたは聞いてお救いくださいます。』”（第二歴代誌 20:9）

そして、さらに面白くなってくるのが12節。ここで彼はこう言っています。

“私たちの神よ。あなたは彼らをさばいてくださらないのですか。”

そして彼はこう言いました。よく聞いてください。

“私たちに立ち向かって来たこのおびただしい大軍に当たる力は、私たちにはありません。”（第二歴代誌 20:12）

別の訳ではこうなっています。

「わたしたちには、どうしようも有りません。」さらに言えば、「希望もない。」と加えましょう。

“私たちに立ち向かって来たこのおびただしい大軍に当たる力は、私たちにはありません。”

そして、彼はこんな風にも祈りました。私はこれが大好きです。私も、度々こんな風になりますから。彼は言いました。

“私たちとしては、どうすればよいか分かりません。”

こんな状況になった事はありませんか？全くなす術もなく、どうしてよいのか分からない。この時のヨシャパテが、その状態でした。そして、これは最高の状況だと言えるでしょう。それは、私たちは良く「神は不可能の神だ」と言いますが、私たちがあまり言おうとしないのは、「私たちが、まだ自分の力で出来る時、神は不可能の神ではない。」言い方を変えてみましょう。自分の力で出来ると思うと、

私はこう言います。「私に任せて！」と。すると神は「分かった。」と言われます。「また出たな。あなたは、いつになったら悟るのか分からないが、やってみなさい。1329回失敗して、自分では出来ないと気づいたら、私の所に戻って来るだろう。」「あなたが戻って来たなら、まだチャンスがあるとはもう言わないよ？」もしそうなら、恐くないですか？あなたが神の所に行くと、神は「ダメだ！」と言われるのです。「私が必要だからと今になって来るとは。てっきり、あなたには私は必要ないのかと思ったよ！」と言われたらどうでしょうか。違います。イザヤが言った言葉が私は大好きです。

“彼はいたんだ葦を折ることもなく、くすぶる燈心を消すこともなく、”（イザヤ 42:3）

神はとても忍耐強くあられ、あわれみ深く、愛で、親切で、優しいお方です。なので、ヨシャパテは、主の御前に出て言いました。「私たちには力もなく、どうしてよいのか分かりません。」それからこう言いました。

“ただ、あなたに私たちの目を注ぐのみです。”（第二歴代誌 20:12）

目を向けるのはそこが良い。「主よ。私たちはあなたを見ていますよ。」「主よ。私たちには、どうして良いのか分かりません。」「主よ。これは、私たちには不利です。」「主よ。私たちには不可能です。」そして、主が何と答えられたか、ご存知ですか？

“——主はあなたがたにこう仰せられます。『あなたがたはこのおびただし大軍のゆえに恐れてはならない。気落ちしてはならない。この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから。』”（第二歴代誌 20:15）

私たちが全ての戦い、全ての試練をこれに当てはめてしまうと、大きな間違いを犯してしまいます。神がイスラエル人に戦うように命じられた戦いも有りますから。しかし、この戦いに関しては、あなた方は戦う必要はないと。わたしがあなた方の代わりに戦おう。あなた方は戦わなくても良い。この戦いは、わたしのものだ。では、私たちは何をすべきか？

“この戦いではあなたがたが戦うのではない。しっかり立って動かずにいよ。あなたがたとともに居る主の救いを見よ。ユダおよびエルサレムよ。”

そして主は再び言われます。

“恐れてはならない。”（第二歴代誌 20:17）

彼らは、恐れおののいていたのです。言っておきますが、恐れはリアルです。恐れは実在します。神はヨシュアに「恐れるな。」と言いました。恐れは実在します。そして、あなたの心が恐れに満ちているなら、神はあなたにも言われます。「恐れるな！」そして主は、あなたに何とっておられると思いますか？「私に任せておきなさい。しっかり見ておきなさい。」そして、この戦いをどのようにして勝利したか、ご存知ですか？全く考えられない事です。神は、「まずは賛美チームを連れて来なさい。」と言

われました。“賛美チーム”彼らは偉大な戦士です。そして、「賛美隊は先頭を行って、わたしを賛美しなさい。賛美して、そしてわたしを礼拝し、勝利に対する感謝をささげなさい。」

「でも主よ！私たちはまだ、勝利していません！」

「そうじゃない。今言ったじゃないか。これはもう、決まっている事だ。勝利をわたしに感謝しなさい。また、あなた方が目にしていなくても。」

勝利の前に、勝利への感謝です。そして彼らが出て行き、神を賛美するやいなや、彼らが勝利を神に感謝し始めるやいなや、その時、神はこの大敵に敵軍を送り、彼らが大混乱させ、彼らは互いに殺し合ったのです。神のこういう事をされるところが、私は大好きです。神が私たちの為に、私たちの代わりに、ちょっと敵を捕まえて、これをされる時が私は本当に大好きです。戦いは主のものですから。そして、主はそれをされたのです。

「神様！私にはどうしてよいのか分かりません。」

「良かった。わたしは知っている。わたしに任せるか？」

「分かりました。主よ。私たちはあなたに目を向けます。」

ヨシャパテにとっては、他に選択肢がありませんでしたから。もし、主がこれをなさらなかったら、もう終わってしまっていたから。いっかんの終わりでした。これが、その終わりです。私が思うに、時に神は私たちをギリギリまで追い込まれます。私たちの限界は、主よっての始まりだから。

最後にまとめに入りたいと思います。このような言葉に出来ない大惨事の中から、得られるものと言え、人々が救われることです。テキサスから、朗報がどんどん届いています。中には、最も被害の大きかったヒューストンのカルバリーチャペルから、届いています。人々が主に立ち返っているのです。これです。大惨事が襲うと、人々が救われる。大惨事が襲うと、人々が救われます。神は、いつもどんな時でも、ただただ良いお方です。人々が救われているのは、何も文字通りだけではありません。永遠に、です。この嵐があったからです。この嵐の為に。私が個人的に、ハリケーンハーヴィーや、これまでのこういった大惨事によって、多くの人々が主に立ち返ると思っています。また、もしかすると、今夜のあなたもそうかも知れません。といっても、ハリケーンハービーではありませんよ。もしからしたら、まさにこの目的の為に、神があなたの人生にも、大惨事が襲うのを許されたのかも知れない。主は、ご自身の元に、あなたを引き寄せておられるのかも知れません。それがあなたに起こる事を、主は認められた。それによって、あなたが主に立ち返るから。

「私にはどうしようもありません。私には希望がありません。私には力がありません。」と言ったヨシャパテのように。「どうしてよいか、分かりません！」主に対する、完全降伏です。主はそれを、両手を広げて待っておられます。あなたを受け入れるために。

「やっと、これらの事があって、ようやく。私はずっと、あなたを引き寄せていたのだ。」

「私はずっと、あなたに求婚していたんだ。」

今日、あなたが主の元に行き、主の御名を呼び求める時かも知れません。その為には神は、あなたの人生にそれが起こるのを認められたのかも知れません。

「救いのABC」と皆さんにシェアしたいと思います。子どもにでも分かる簡単さです。

もし、あなたが今までに一度も主の御名を呼び求めた事が無い、あるいは、今日、もしあなたが死ん

だとして、主の元に行ける確信が持てないか、少しでも疑いがあるなら、少しでも疑問に思うなら、核心を持って知る事の出来る方法をお伝えします。ヨハネが言ったように、あなたにも永遠のいのちを持っている事が分かるのです。それはABCのように簡単です。



A=Admit・認める Acknowledge・認識する
自分が罪人であり、救い主が必要であると、認める、認識する。

“「義人はいない。ひとりもない。」(ローマ 3:10)

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません。”(ローマ 3:23)

私たちは皆、罪びととして生まれた。だから、私たちは神の御国に入る為には、新しく生まれなくてはならないと、イエスは言われたのです。ローマ6:23には、悪い知らせが、良い知らせとセットになって入っていて、私はこの聖句が大好きです。

“罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”(ローマ 6:23)

B=Believe・信じる

一旦、自分が罪人である事を認め、救い主の必要を認識したら、次に、心で Believe・信じます。イエス・キリストが主であり、神が彼をよみがえらせてくださった。彼は、私たちの罪の為に十字架で死に、3日後に死を打ち破って、再びよみがえったのです。そして今は、御父の右手に座しておられます。

“あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、**あなたは救われる**からです。”(ローマ 10:9)

“もしかして”とか、“可能性がある”とか、“かもしれない”ではなく、“あなたは救われる”のです。

C=Call・呼び求める、Confess・告白する

単純に、主の御名を呼び求める、もしくは告白するのです。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”(ローマ 10:9-10)

どのようにして、そうなるのか。それはとても簡単です。繰り返しますが、子供にでも分かるほど簡単です。簡単すぎると思いませんか？

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」”（ローマ 10:13）

もしあなたが、今まで一度も主の御名を呼び求めた事がないなら、どうか今日、この素晴らしい教会を出る前に、呼び求めてください。そうすれば、あなたも救われます。

祈ります。

愛する天のお父様。良い知らせを感謝します。この恐ろしく悪い知らせの中にある、良い知らせ。主よ、あなたが良い方であられることに感謝します。あなたはすべてを働かせて益としてくださいます。主よ。今日、この中で、あなたを呼び求めた事の無い人がいるなら、どうか今日、その人があなたに降伏し、全ての信頼をあなたに置いて、あなたの御名を呼び求めて救われますように。今日が、彼らの救いの日となりますように。イエスの御名によって、アーメン。

聖餐式

私たちに最も必要なものは、主の最も偉大なる御業だと言われています。わたしたちに最も必要なものは、救いと贖いです。それが主の最も偉大な御業です。主はこの世に人として来られました。完全な人間、完全な神として。そして、全人類の罪をご自身に受けられました。そして、およそ2千年前、あの十字架上で、主はあなたや私が過去に犯した罪、現在犯している罪、今後犯す罪の、一つ一つの代価を、全額支払われました。すべての罪が赦されました。贖われたのです。イザヤはこのように言っています。

“「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」”（イザヤ 1:18）

そして、すごいのがこれです。

“東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。”（詩編 103:12）

“「わたしは、もはや決して彼らの罪と不法とを思い出すことはしない。」”（ヘブル 10:17）

あるひとがこんなことを言っていました。主に、同じ罪の赦しを2度、3度乞うと、「私は、その罪の事は覚えていない。」と神は言われたのです。

私はこれがあるから聖餐式が大好きなのですが、今日もし、ここに居る皆さんの中で、この1週間、サタンがあなたの人生の中での事を非難し、罪悪感を与えて、あなたの事を打ちのめしていたとすれば、パウロがローマ 8:1 に書いている内容を示す、この聖餐式はあなたの為のものです。

“こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。”（ローマ 8:1）

それを、私たちは今日、ここで祝っているのです。イエスは、私を覚えて、何度でもこれを行いなさいと言われたのです。あまりにも頻繁に、私たちは思い出す必要があると思いませんか？日々の生活に追われて、忙しすぎて。特にハワイに住んでいると、つい自分が救われているという事を、忘れてしまいがちです。これは最悪です。天国が報酬です。私たちは、地上で最後の息をついた後、主のいる天国で、最初の息をつくのです。そこでは、もはや苦しみもなく、試練もなく、痛みもない、悲しみもない。ゴキブリも、シロアリもいない。どれも無いのです。家賃も無い。そういった物は無いのです。私たちは、主と共に栄光の中に永遠にいるのです。主がしてくださった事の為に、です。ルカの福音書 22 章には、私たちが最後の晩餐と称するものの中に、私たちに命じられている事があります。聖霊に満たされてルカが書いています。

“さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスと一緒に席についた。イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒に、この過ぎ越しの食事をするをどんなに望んでいたことか。あなたがたに言いますが、過ぎ越しが神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過ぎ越しの食事をすることはありません。」そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時まで、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」”(ルカ 22:14-18)

ちなみに、これは何の事だか分かりますか？小羊の祝宴です。私たちは、主の隣で、主の花嫁として、それを頂くのです。それが主の御国での、最後でそして究極の成就です。待ちきれません。待ちきれません。今から練習しないといけませんね？

“それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」”(ルカ 22:19)

この裂かれた主の体の象徴が、どれほどパワフルであるか、大げさに言いすぎる事なんて不可能です。理解しなければならぬのは、イエスは、過ぎ越しの預言の成就だったのです。どういう意味か？出エジプト記の過ぎ越しを覚えていますか？イスラエル人は小羊を用意し、それを 4 日間調べるように言われました。もしその小羊に、シミもしわも欠陥も一切ない事が認められれば、骨は折らずに、皮を裂き、体を裂きます。そして、ヒソプの枝を傷の無い小羊の血に浸し、家の戸口の柱に塗りました。ちなみに、それは十字架の形です。ローマの十字架、もしくは十字架刑が発明される何世代も前に、です。戸口の柱の上、それから下、そして両横で、十字架の形です。なぜか？そうすれば、死の御使いが、彼らの家を“過越し”ます。十字架の形をした、小羊の血がそこにあるからです。後に来られる方の予型、預言です。十字架にかけられ、主の体は裂かれ、主の血は私たちの代わりに流された。だから、私たちの罪の為の死の御使いは、私たちを過ぎ越すことが出来、イスラエル人にとっては、出エジプトの前の、10 番目の災いで、彼らの長子が死ぬことはありませんでした。面白い予型だと思いませんか？なぜなら、神のひとり子が死に、過ぎ越しの祭りの預言を成就させたのです。今日、私たちが預かっているこれは、それほどに力のあるものなのです。これは、私たち一人一人にとって、イエスが、私たちの

為にしてくださった事を、思い出す機会なのです。イエスは、私たちの為に死なれました。イエスは、私たちの代わりに死なれました。イエスは私たちの為に、私たちの代わりに死刑所に入られたのです。私たちが、そこに入れられるべき者なのです。しかし、その代わりに主が言われたのです。「わたしが、あなたの為に死のう。」「わたしがあなたの為に死ぬ。」「わたしの体は、あなたの為に砕かれたのだ。」これが、私たちが聖餐式を行う理由です。一緒にいただきましょう。

主よ。どうすれば、あなたに十分感謝の気持ちを伝えられるでしょう。私たちの為に、自ら死んでくださり、私たちの全ての罪を、あなたが引き受け、支払われました。そうして、あなたは私たちに永遠のいのちという、無償の賜物を与えてくださいました。だから私たちは信仰によって、救われます。私たち自身でなく、私たちの行いでなく、誰一人として誇る事の無いためです。主よ。私たちが、無償で受け取る為に与えられた賜物に感謝します。あなたが全てを犠牲にしてくださいました。あなたは、いのちを差し出されました。その為に、私たちが無償で受け取る事が出来るのです。主よ、感謝します。また、私たちが、あなたを覚えてこれが出来る事にも、感謝します。

ルカは続けて書いています。

“食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」”(ルカ 22 : 20)

私たちは、「血潮の中に力がある」と歌います。それは、もちろんそうなのです。けれども皆さん、イエスの血潮にどれほどの力があるか、分かっておられますか？考えてみてください。聖書の中には、罪の赦しはないと書かれています。これは、覆いとはまた違って、旧約では“khw”、新約では清め、許し、取り去る、です。イエス・キリストの血潮以外に、罪のシミを取り去るものは、何もありません。それほど力があるのです。あなたが犯した、どんな罪も、どれほど重要な罪でも、どれほど恐ろしい罪でも、どれほど考えられないような罪でも、完全に取り去る事が出来るのです。どれほど力があるのか、誇張する事は不可能でしょう。私たちが手にしているのは、イエスの血潮の象徴です。

“血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。”(ヘブル 9:22)

そして、私たちは今日これを祝っているのです。私たちの代わりに流された、主の血潮によって、私たちの罪は洗い流された。

この曲は知っていますか？

♪ Oh Happy day! オーハッピーデイ!
Oh Happy day! オーハッピーデイ!
When Jesus washed イエスが洗い流してくださった
He washed my sins away 彼が私の罪を洗い流してくださった

ついこの間、この歌が頭に浮かんで、ずっと歌っていたのです。イスラエルに行った時に、この歌を歌

ったのを覚えていますか？それが、どれほど幸せな日であるか、考えてみてください。
私の罪が洗い流された！私は救われたのです！主が贖ってくださったから！オーハッピーデー！
共にいただきましょう。
皆さんも、一日中この歌を歌いますよ。一緒に歌いましょう。

♪Oh Happy day! オーハッピーデー！
Oh Happy day! オーハッピーデー！
When Jesus washed イエスが洗い流してくださった
He washed my sins away 彼が私の罪を洗い流してくださった

イエス、主を賛美します！素晴らしい一日を！ハッピーデー！イエスの御名によって。God bless you!

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
へブル 4 : 7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe
47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii
訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>
筆記 by まい